

[okazaki\_141]

活動タイトル	リモート講義による環境教育講座
実施日	2022年11月8日
場所	オンライン
対象数	153名

日本医療大学保健医療学部看護学科の環境教育講座で、「身近な生活の科学を学ぶ ～気候変動とわたしたちの暮らし～」というタイトルで、講師をつとめました。私がオンラインで話すのを、大講堂で、学生さんたちが受講し、次の時間にレポートを書く、というスタイルでした。

講座で伝えた項目は、下記の通りです。

- ・ 猛暑日や熱帯夜が増えている
- ・ 熱中症は、学生さんたちがこれから接することになる持病のある人や高齢者などが、より悪影響を被る
- ・ 温暖化についてのおさらい
- ・ 若者たちが、世界各地で気候危機を止めるよう取り組んでいること。(＃私たちは気候危機を止められる最後の世代 (Fridays For Future Japan))
- ・ 身近な取組の例：電気の省エネのポイント、「設定などの使い方」「使う時間や回数をへらす」「購入の際の選び方」の3点について、クイズや簡単な消費電力量の計算を交えながら。
- ・ 個々人の取り組みだけでなく、仕組みを変えることが、大きな効果につながることを待機電力や省エネラベル、改正建築物省エネ法を例としながら。
- ・ 「人がそれほど合理的に行動するわけではない」ということに触れ、近年注目されている「ナッジ」や「しかけ」などの行動デザインの事例の紹介。

配付資料：PPT資料を、学校で印刷していただき、各学生に配布。

(感想・反省点)

- ・ 少しでも一方通行ではないものになるように、クイズでは、学生さんに、挙手で答えてもらい、担当の先生に状況を伝えてもらうようにしましたが、大講堂の様子を見えるようにしていなかったため、反応がわからず、単調になってしまいました。次回、同様の状況の場合は、会場の様子が分かるように、PCの配置を工夫するよう依頼したいと思います。
- ・ 今回は、講座全体を繋ぐストーリー性をうまく考えられなかったので、次回は、もう少し時間をかけて、ストーリーを練るようにしたい。

実施写真等

